

(33) 魚病監視調査

調査方法

1. 調査期間

2010年4月～2011年3月

2. 調査項目

1) 魚病診断

育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。

2) 健康診断

クロアワビの感染症であるキセノハリオチス症の検査をPCR法により行った。

調査結果

表1、2のとおり。

担当者

辻村浩隆

表1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2010年						2011年						合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ヒラメ	ネオヘテロボツリウム症					1								1
	原因不明												1	1
オニオコゼ	原因不明				1									1

表2 魚病監視調査、健康診断（キセノハリオチス症検査）

検査日	2011年	2011年
	3月18日	3月22日
検査個体	150	30
検体数	15	6
陽性数	15	6